



主な内容

- 2〜3……新・理想郷プラン第2次基本計画などパブリックコメント
- 4……広聴制度(市長の手紙など)
- 5……ふるさと納税
- 7……施設ガイド
- 8……1月の相談、やまなみ号巡回日程

発行/名張市秘書広報室 〒518-0492 名張市鴻之台1-1 ☎ 0595-63-7402 FAX 0595-64-2560 ✉ pr@city.nabari.mie.jp



市民の声を聴く広聴制度

きっかけは、 あなたの声

市民の皆さんが市の施策に何を期待し、満足しているのか。本市では毎年、市民意識調査を実施しており、市民の皆さんのご意見を各施策の評価につなげています。

この他、パブリックコメントなど市民の皆さんに、ご意見をいただく機会を設けています。

☎ 秘書広報室 ☎ 63・7402

皆さんの声を聴く「広聴」

本市では、市民の皆さんが市政に何を期待しているか(ニーズ)やどれくらい満足しているか(評価)などを知るため、毎年、約2000人の市民の皆さんを対象にした市民意識調査を実施し、各施策の評価につなげています。

この他、市民の皆さんの声を広く聴き取る広聴制度を設けています。

広聴制度の中の一つに、「パブリックコメント」があります。条例や市の重要な計画などを素案の段階で市民の皆さんに公表し意見を求め、提出された内容を考慮して決定を行う制度です。



また、市政に対する考えや思いを直接市長にお寄せいただく「市長への手紙」、市長が直接伺い、まちづくりについて話し合う「市長のまじかどトーク」、担当職員が出向きそれぞれのテーマに基づき市政に対する理解と関心を深めていただく「出前トーク」などがあります。

少子高齢化や人口減少など課題は多くありますが、まちづくりを進めていくためには、皆さんの声が必要です。皆さんの声がきっかけとなり、市の施策が展開でき、業務を改善するチャンスにもつながります。今後、市政に対してご意見をお待ちしています。

こんな声も

市の課題を若者目線で解決したい 名張青峰高校生徒の提案

名張青峰高校3年生の生徒7人が市の抱える課題について考え、解決策を市長や市議会議員、市の担当職員に提案発表を行いました。情報活用やプレゼンテーションなどを学ぶ授業を選択した生徒たちは、待機児童や子育て、空き家対策、公共交通問題、



観光客減少などそれぞれ関心のあるテーマや課題についての現状を分析、若者の視点で発表しました。

中には、「名張のPR動画は普通だと感じた」と話し、自分自身で斬新なラップ調のプロモーション動画を作成して披露した生徒もありました。



生徒たちは、「名張のことを改めて考える機会を与えてもらって良かった」と話し、発表を聞いた市長は、「ハッとさせられる新しい視点もあり、すぐに活用できるものもあった。ぜひ参考にしたい」と感想を述べ、「これからも若い皆さんと連携していきたい。どんどん市政に対してご意見ください」と話しました。

私たちの提案を紹介します(一部抜粋)

中高生の保育ボランティアを募集すればいい。
便利な情報が手に入るスマホ用アプリも導入してほしい。

藤岡 佑唯さん



伊賀米、伊賀牛とかのブランドはあるけど、もっと「名張」という名前のついたブランドがほしい。

前田 はるかさん

公共交通への不満が高い。将来、ネットで予約して待ち時間もなくなるシステムを導入してほしい。

松浦 皓太さん



増える空き家を何とかしたい。リノベーションなどをして人が集まる空間にしたり、賃貸にした方がいい。

川 東 伸輔さん

アニメの聖地になれば観光客も来る。若者が集まるイベントとして、アニメフェスティバルを開催したい。

落合 麗花さん



リゾートホテル並みのサービスがあり、自然を体験できるキャンプ(グランピング)なら名張もできそう。

中谷 峻真さん

市民に名張のことをもっと知ってもらわないといけない。斬新なPR動画などが必要だと思う。

山本 翔太さん

